

オーラルバイオメカニクスを考慮した 歯周矯正治療

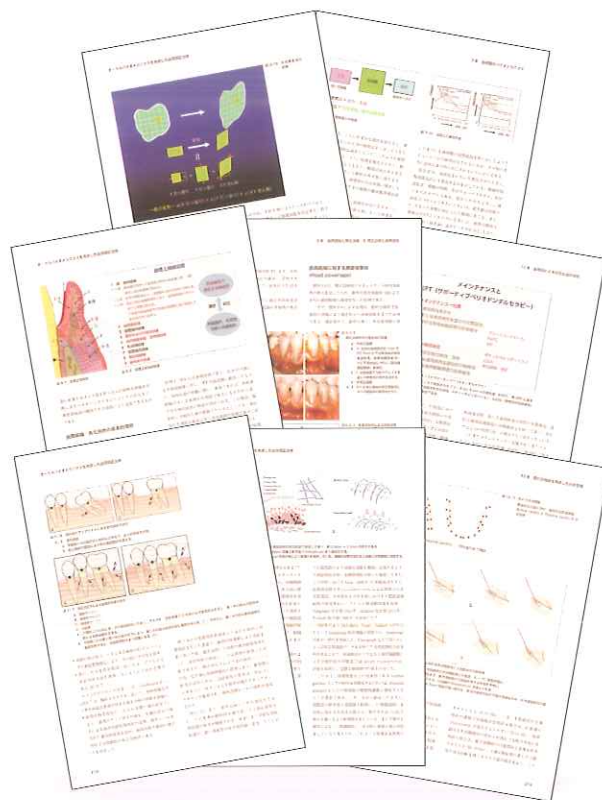
著＝児玉利朗、小林 優、田村利之 編著＝不島健持



「オーラルバイオメカニクスを考慮した歯周矯正治療」の発刊が共著者の先生方のご協力の元、実現した。歯周病や咬合崩壊が顕著な症例では、包括診療に矯正治療が組み込まれることがある。包括診療には、検査・診断分析法や咬合・歯周組織の知見を各科の専門医と共有し、臨床課題を共有することが求められる。

他専門領域を理解することは、包括診療の実践だけでなく、自身の専門性を深めるために重要である。本書が歯科医療の発展に少しでも貢献できれば幸いである。

(本書「はじめに」により抜粋・要約)



著：児玉利朗、小林 優、田村利之
編著：不島健持
サイズ：A4判、フルカラー、240ページ
発行：東京臨床出版株式会社
発売：株式会社 JM Ortho
〔定価〕11,000円（本体10,000円＋税）

※表紙など、内容については一部変更が生じる場合があります。

(株) JM Orthoまたはお出入りのディーラーまで。

包括診療実践のためのノウハウの数々。

はじめに

執筆者一覧

1章 歯周病と矯正治療

歯列不正は歯周病の危険因子か／歯周病は歯列不正の発現と関わるか

2章 歯周組織に対する矯正治療の影響

歯周組織に対する矯正治療の影響／矯正治療による歯周組織の改善／歯周組織に対する矯正治療の悪影響／歯周組織を傷害する原因

3章 歯根膜のバイオメカニクス

歯根膜の系統発生／歯根膜の構造／歯根膜の物性／バイオメカニクスの方法と有限要素法／歯根膜の静力学的機能／歯根膜の動力学的機能／歯根膜の力学的機能と組織構造の関係／矯正力による歯の移動と歯根膜

4章 歯周組織・歯周病の基本と臨床

矯正治療における歯周組織の考え方とその背景／歯周組織・角化歯肉の基本的理解／歯槽骨と角化歯肉の動態／咬合性外傷と歯周組織

5章 機械的外力に対する歯周組織の応答—動物実験モデルによる論文的考察

咬合性外傷／実験的歯牙移動／まとめ—機械的外力に対する歯周組織の応答

6章 歯周組織の診査と咬合管理

歯周矯正治療における歯周病のリスク判断／リスク判定基準値（基本治療前）に従った咬合治療の考え方／歯周病患者における咬合治療の進め方／まとめ

7章 歯周矯正治療

歯周矯正治療における基本原則／歯の移動メカニクスに対する配慮／歯周矯正治療例【症例1～5】／歯周矯正治療患者の口腔内清掃について

8章 歯周組織管理の重要性を認識した成人矯正治療

矯正治療における歯周組織管理【症例1～2】／まとめ

9章 歯肉退縮と矯正治療

part1：歯肉退縮の診査・分類

歯肉退縮の診査／歯肉退縮の分類

part2：矯正治療と歯肉退縮

矯正治療と歯肉退縮／歯肉のバイオタイプ／歯肉退縮に対する根面被覆術／上皮下結合組織移植術＋歯肉弁歯冠側移動術（ポーチテクニック）による根面被覆術／非う蝕性歯頸部病変を伴う歯肉退縮に対する歯周形成術／まとめ

part3：Digitalmodelによる歯肉退縮の診査

矯正治療と歯肉退縮の評価／DigitalModelを用いた臨床歯冠長の評価／動的治療中に発現する矯正治療特有のJiggling型咬合性外傷／レーザードップラーによる歯肉血流計測／まとめ

10章 歯周病による病的な歯の移動

歯周病と歯の病的移動に関する臨床症例／歯の病的な移動によるフレアーアウト【症例1～5】／症例の分析／プロービングデプスによる外傷性因子の診査／メンテナンスとSPT

11章 歯周組織の矯正治療

矯正治療による歯周組織の変化／矯正的挺出：強制萌出／矯正的圧下／歯周矯正と歯周組織再生療法／矯正治療と根分岐部病変／まとめ

12章 保定における歯周組織の管理

保定の管理はどのように設定されているか？／保定の臨床的評価／保定効果に関する動物実験／なぜ後戻りするの？／保定と後戻り／後戻り防止の対策

13章 顎口腔機能を考慮した咬合管理

矯正歯科における全顎的咬合再構成／生体力学的な観点から見た咬合／咬合論発展の歴史／歯周組織に対する咬合管理の重要性／矯正歯科臨床における咬合の再構成／顎関節のバイオメカニクス／下顎運動の中枢制御機構／咬合調整の基本／まとめ

用語解説・索引

執筆者略歴

※内容については一部変更が生じる場合があります。

「オーラルバイオメカニクスを考慮した歯周矯正治療」申込書

氏名	
医院名（大学名）	電話（ ） —
住所 お届け先	-----
ディーラー名	